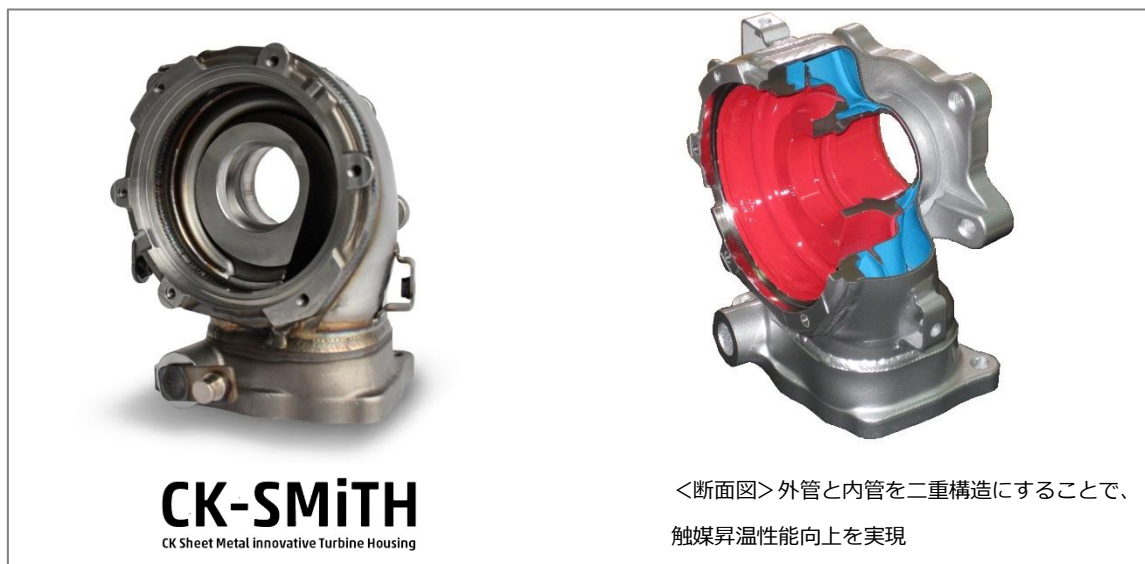


カルソニックカンセイ、板金タービンハウジング「CK-SMiTH」が 第17回ステンレス協会賞 最優秀賞を受賞

【2018年3月28日、さいたま】グローバルで自動車部品を提供し、今年創立80周年を迎えるカルソニックカンセイ株式会社（本社：さいたま市北区、社長：森谷弘史）は、この度ステンレス協会が選定する「第17回ステンレス協会賞」において、板金タービンハウジング「CK-SMiTH」が最優秀賞を受賞しました。

今回最優秀賞を受賞した「CK-SMiTH」は、成形が難しい耐熱フェライト系ステンレス鋼板を複雑な形にプレス成型し、外管と内管を二重構造にすることで、従来の鋳物ハウジングと比較し触媒昇温性能を向上させ、排出ガス浄化性能の向上を実現しています。また、板金化することで15%の軽量化も果たし、燃費貢献していることが高く評価されました。そして、ディーゼルエンジン車向けとしては世界初の製品であり、ステンレスの新たな用途拡大に繋がる商品として注目されています。

尚、3月27日に東京・鉄鋼会館にて「第17回ステンレス協会賞」表彰式が行われました。



◀ 3月27日 第17回ステンレス協会賞表彰式を受賞風景（鉄鋼会館）